

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年9月11日(2014.9.11)

【公表番号】特表2013-533070(P2013-533070A)

【公表日】平成25年8月22日(2013.8.22)

【年通号数】公開・登録公報2013-045

【出願番号】特願2013-523556(P2013-523556)

【国際特許分類】

A 47 J 31/44 (2006.01)

A 47 J 31/34 (2006.01)

A 47 J 31/06 (2006.01)

【F I】

A 47 J 31/44 Z

A 47 J 31/34

A 47 J 31/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カプセルを用いて飲料を調製するためのシステムであって、該システムは、飲料調製装置およびカプセルを備え、

該装置は、

第1チェンバー部分、および

第2チェンバー部分

を備え、

第1チェンバー部分および第2チェンバー部分は、開位置と閉位置との間で動かされるように相互に移動可能である、ここで、該開位置において、該カプセルは該第1チェンバー部分と該第2チェンバー部分との間ににおいて飲料調製位置に挿入され、該第1チェンバー部分と該第2チェンバー部分の該閉位置においては、該カプセルは該飲料調製位置から逃れることができない。

該装置はさらに、該カプセルのそこへの挿入を可能にするように且つ前記カプセルを該飲料調製位置に位置付けるように配設されたカプセルハンドラーを備え、

該カプセルハンドラーは待機位置と放出位置との間で移動可能であり、

該カプセルハンドラーが該待機位置にあるとき、該カプセルハンドラーは該カプセルを該飲料調製位置に留めておくように、且つ該第1チェンバー部分と該第2チェンバー部分とが該閉位置から該開位置まで相互に動かされるとき、該カプセルは、該カプセルハンドラーが該放出位置にあるときは、重力の影響下で該飲料調製位置から自由に落下しうるよう、該カプセルハンドラーと該カプセルとは相互に適合させられている、

上記システム。

【請求項2】

該カプセルハンドラーは、該カプセルハンドラーが該待機位置にあるとき、該カプセルを該カプセルハンドラー内に保持するための保持手段を備えている、請求項1に記載のシステム。

【請求項 3】

該カプセルハンドラーは、該カプセルを該飲料調製位置へ案内するための案内手段を備えている、請求項 1 または 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

該案内手段は、該カプセルハンドラーが該待機位置にあるとき及び該放出位置にあるときの両方で、該カプセルを係合するように配設されている、請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 5】

該カプセルハンドラーは、該待機位置と該放出位置との間を、該案内手段の案内方向に對して實質的に平行な方向に移動可能である、請求項 3 又は 4 に記載のシステム。

【請求項 6】

該カプセルハンドラーは、該第 1 チェンバー部分の移動方向に對して實質的に垂直な方向に移動可能である、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 7】

該カプセルハンドラーは、該第 1 チェンバー部分および該第 2 チェンバー部分に對して移動可能である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 8】

該カプセルは、たとえばフランジ形状の案内エッジを備えている、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 9】

該案内手段は、該カプセルの案内エッジに係合するように配設された 2 つの案内レールを備え、

該カプセルが該飲料調製位置にあり且つ該カプセルハンドラーが該待機位置にあるとき、該保持手段は該案内エッジに当接するように配設され、

該保持手段は該案内レール内に配設され、

該案内レールおよび該保持手段は一致して動きうる、

請求項 3 ~ 5 のいずれか 1 項に從属している限りでの請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 10】

該カプセルハンドラーが該待機位置から該放出位置まで動くとき、該カプセルハンドラーは、該保持手段が該案内エッジの最も幅広い点を通過するように配設され、

該カプセルハンドラーが該待機位置から該放出位置まで動くとき、該カプセルハンドラーは、該案内エッジが延在しているところの平面内で上方に動くように配設されている、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 11】

該カプセルが該カプセルハンドラー内にあって該飲料調製位置にあるとき、該カプセルハンドラーは、該カプセルの出口面を該第 2 チェンバー部分の飲料調製板に当接してまたは近くに位置付けるように配設されている、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 12】

該第 2 チェンバー部分は可動である、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 13】

該装置が該カプセルの挿入のための準備ができたとき、該装置は該カプセルハンドラーが該待機位置に位置付けられるように配設されている、請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 14】

該カプセルハンドラーは、該待機位置とは異なる装填位置から該待機位置まで可動であり、かつ該装置が該カプセルを挿入するための準備ができたとき、該装置は、該カプセルハンドラーが該装填位置に位置付けられるように配設されている、請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 15】

該カプセルハンドラーは、一体部分である、請求項1～14のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項16】

該カプセルは作動部材を備え、且つ

該装置は、該カプセルを保持するように配設されたカプセルホールダ、該カプセルが該カプセルホールダ内にあるとき該カプセルの方へ流体を供給するために配設された流体供給ユニット、該カプセルへ供給されるべき該流体のパラメータを制御するために配設された流れ制御ユニットを備え、ここで、該流れ制御ユニットは少なくとも第1モードおよび第2モードの1つで選択的に操作されるように配設されている。

該第1モードにおいて、該パラメータは第1レベルに調節され、該第2モードにおいて、該パラメータは該第1レベルとは異なる第2レベルに調節され、

該流れ制御ユニットは、第1位置と第2位置との間で可動なスイッチ部材を備え、かつ該カプセルが該カプセルホールダ内にあるとき、該スイッチ部材は、第1または第2位置に配置されるべき該カプセルの該作動部材によって係合されるように配設され、および

該システムは、該スイッチ部材が該第1位置にあるとき、該流れ制御ユニットは該第1モードにあり、かつ該スイッチ部材が該第2位置にあるとき、該流れ制御ユニットは該第2モードにあるように配設されている、

請求項1～15のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項17】

該スイッチ部材は、該カプセルホールダの内壁の第1窪み部内に位置付けられ及び/又は該作動部材は該カプセルの外側輪郭の第2窪み部内に位置付けられている、請求項16に記載のシステム。

【請求項18】

該カプセルホールダの内壁は突出部分を備え、かつ該スイッチング部材は前記突出部分に相対的にへこんで置かれ、

該スイッチング部材は、該カプセルホールダの内壁に相対的にへこんで置かれ、かつ該作動部材は該カプセルの外側輪郭に相対的にへこんで置かれ、

該カプセルが該カプセルホールダ内にあるとき、該カプセルホールダの内壁の該突出部分は、該カプセルの第2窪み部内に延在している、

請求項16または17に記載のシステム。

【請求項19】

請求項1～18のいずれか1項に記載のシステムの飲料調製装置。

【請求項20】

飲料成分を備えているカプセルから飲料を調製するための方法であって、

カプセルを準備すること、および

第1チェンバー部分、

第2チェンバー部分、および

カプセルハンドラー

を備えた飲料調製装置を準備すること、

を含み、

該カプセルが該第1チェンバー部分と該第2チェンバー部分との間に挿入されうるように、該第1チェンバー部分と該第2チェンバー部分とを互に対して開位置に位置付けること、

該カプセルを該カプセルハンドラー内に挿入すること、および該カプセルハンドラーに待機位置を取らせること、ここで、飲料調製位置における該カプセルは該第1チェンバー部分と該第2チェンバー部分との間にある、

該カプセルが該飲料調製位置から離脱できないように、該カプセルの該飲料調製位置に対応して、該第1チェンバー部分および該第2チェンバー部分を互に対して閉位置に位置付けること、

該保持手段が該カプセルを越えて通過するように、該カプセルハンドラーを該待機位置

から該放出位置まで動かすこと、

該カプセルが重力の影響下で該飲料調製位置から自由に落下することを可能にするよう
に、該第1チェンバー部分および該第2チェンバー部分を互に対し開位置に位置付ける
こと、

のステップを包含している、

上記方法。

【請求項21】

該飲料調製装置であって、さらに、

該カプセルを保持するように配設されたカプセルホールダ、

該カプセルが該カプセルホールダ内にあるとき、流体を該カプセルへ供給するための
流体供給ユニット、

を備える該飲料調製装置を準備すること、および

少なくとも第1モードおよび第2モードの1つにおいて該カプセルへ流体を選択的に供
給すること、ここで、該カプセルの作動部材に応じて、該第1モードにおいては、該カプ
セルへ供給されるべき該流体の該パラメータ、たとえば該流量及び/又は該圧力は、第1
レベルへ調節され、かつ該第2モードにおいては、該パラメータ、たとえば該流量及び/
又は該圧力は、該第1レベルとは異なる第2レベルへ調節される、
を包含する、請求項20に記載の方法。

【請求項22】

作動部材を備えているカプセルを準備すること、

該飲料調製装置であって、さらに、

該カプセルを保持するように配設されたカプセルホールダ、

該カプセルが該カプセルホールダ内にあるとき、流体を該カプセルへ供給するための
流体供給ユニット、

を備える該飲料調製装置を準備すること、および

少なくとも第1モードおよび第2モードの1つにおいて該カプセルへ流体を選択的に供
給すること、ここで、該カプセルの作動部材に依存して、該第1モードにおいては、該カプ
セルへ供給されるべき該流体のパラメータ、たとえば流量及び/又は圧力は、第1レベル
へ調節され、かつ該第2モードにおいては、該パラメータ、たとえば該流量及び/又は
該圧力は、該第1レベルとは異なる第2レベルへ調節される、
を包含している、

請求項20に記載の方法。

【請求項23】

請求項1～18のいずれか1項に記載のシステムの該飲料調製装置におけるカプセルの
使用方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

したがって、本発明に従い、飲料調製装置であって、

第1チェンバー部分、および

第2チェンバー部分

を備え、

第1チェンバー部分および第2チェンバー部分は、開位置と閉位置との間で動かされる
ように相互に移動可能である、ここで、該開位置において、該カプセルは該第1チェンバ
ー部分と該第2チェンバー部分との間に於いて飲料調製位置に挿入され、該第1チェンバ
ー部分と該第2チェンバー部分の該閉位置においては、該カプセルは該飲料調製位置から
逃れることができない、

該装置はさらに、該カプセルのそこへの挿入を可能にするように且つ前記カプセルを該飲料調製位置に位置付けるように配設されたカプセルハンドラーを備え、

該カプセルハンドラーは待機位置と放出位置との間で移動可能であり、

該カプセルハンドラーが該待機位置にあるとき、該カプセルハンドラーは該カプセルを該飲料調製位置に留めておくように、且つ該第1チェンバー部分と該第2チェンバー部分とが該閉位置から該開位置まで相互に動かされるとき、該カプセルは、該カプセルハンドラーが該放出位置にあるときは、重力の影響下で該飲料調製位置から自由に落下しうるよう、該カプセルハンドラーと該カプセルとは相互に適合されている、

上記装置が提供される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明に従い、カプセルを用いて飲料を調製するためのシステムであって、該システムは、飲料調製装置およびカプセルを備え、該飲料調製装置は、

第1チェンバー部分、および

第2チェンバー部分

を備え、

第1チェンバー部分および第2チェンバー部分は、開位置と閉位置との間で動かされるように相互に移動可能である、ここで、該開位置において、該カプセルは該第1チェンバー部分と該第2チェンバー部分との間ににおいて飲料調製位置に挿入され、該第1チェンバー部分と該第2チェンバー部分の該閉位置においては、該カプセルは該飲料調製位置から逃れることができない、

該装置はさらに、該カプセルのそこへの挿入を可能にするように且つ前記カプセルを該飲料調製位置に位置付けるように配設されたカプセルハンドラーを備え、

該カプセルハンドラーは待機位置と放出位置との間で移動可能であり、

該カプセルハンドラーが該待機位置にあるとき、該カプセルハンドラーは該カプセルを該飲料調製位置に留めておくように、且つ該第1チェンバー部分と該第2チェンバー部分とが該閉位置から該開位置まで相互に動かされるとき、該カプセルは、該カプセルハンドラーが該放出位置にあるときは、重力の影響下で該飲料調製位置から自由に落下しうるよう、該カプセルハンドラーと該カプセルとは相互に適合されている、

上記システムをも提供することである。